

外航貨物保険の保険金請求へのブロックチェーン技術適用に向けた実証実験を開始

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 北沢 利文 以下:東京海上日動)と株式会社NTTデータ(代表取締役社長 岩本 敏男 以下:NTTデータ)は、外航貨物海上保険における保険金請求業務へのブロックチェーン技術適用の実証実験を2017年11月より開始します。

なお、外航貨物海上保険における保険金請求へのブロックチェーン技術の適用は、日本において初めての試みであり、国際的にも先駆的な取り組み※1です。

※1 東京海上日動およびNTTデータ調べ

1. 背景

外航貨物海上保険における保険金請求では、保険証券が貨物とともに流通するため、必ずしも契約した保険会社が保険金支払業務を行うわけではなく、特に海外では輸入者が現地で事故通知から保険金の受領まで行えるよう、保険会社が提携する海外クレーム代理店が保険金支払いの手続きを行っています。

海外クレーム代理店が保険金支払い手続きを実施する際には、紙等で存在している事故報告書、貨物の損傷写真、Invoice(商業送り状)等の貿易関連書類および保険証券を収集する必要があり、さらに保険会社へ補償内容をメール等で確認する必要があります。

このため、世界中に点在する貿易関連書類と最新の保険証券の収集を海外クレーム代理店がいかに迅速かつ正確に実施できるかが、迅速な保険金支払い手続きを実現する上での課題となっていました。

東京海上日動とNTTデータは、ブロックチェーンを利用した共同実証実験※2の第二弾として、外航貨物海上保険における保険金請求へのブロックチェーン技術の適用に向けた実証実験を行うこととしました。

※2 2017年4月24日付ニュースリリース「保険証券へのブロックチェーン技術適用に関する実証実験の完了」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/170424_01.html

<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2017/042401.html>

2. 実証実験概要

(1) 概要

保険金支払い手続きにおいて必要となる保険証券、事故報告書、貿易関連書類等を電子化してブロックチェーン上に流通させることで、情報の共有をリアルタイム化し、書類ミスの低減や支払い対応の迅速化を検証します。

保険金支払い手続きにおいて必要なドキュメントをブロックチェーンにより流通させることで、支払い手続きのスピードや正確性が向上することから、保険金支払い期間の短縮や郵送コスト等の削減が期待できます。

なお、今回の実験では、貨物の損傷写真等、文字以外の情報についても、リアルタイムに共有できる仕組みについて技術検証を進めます。

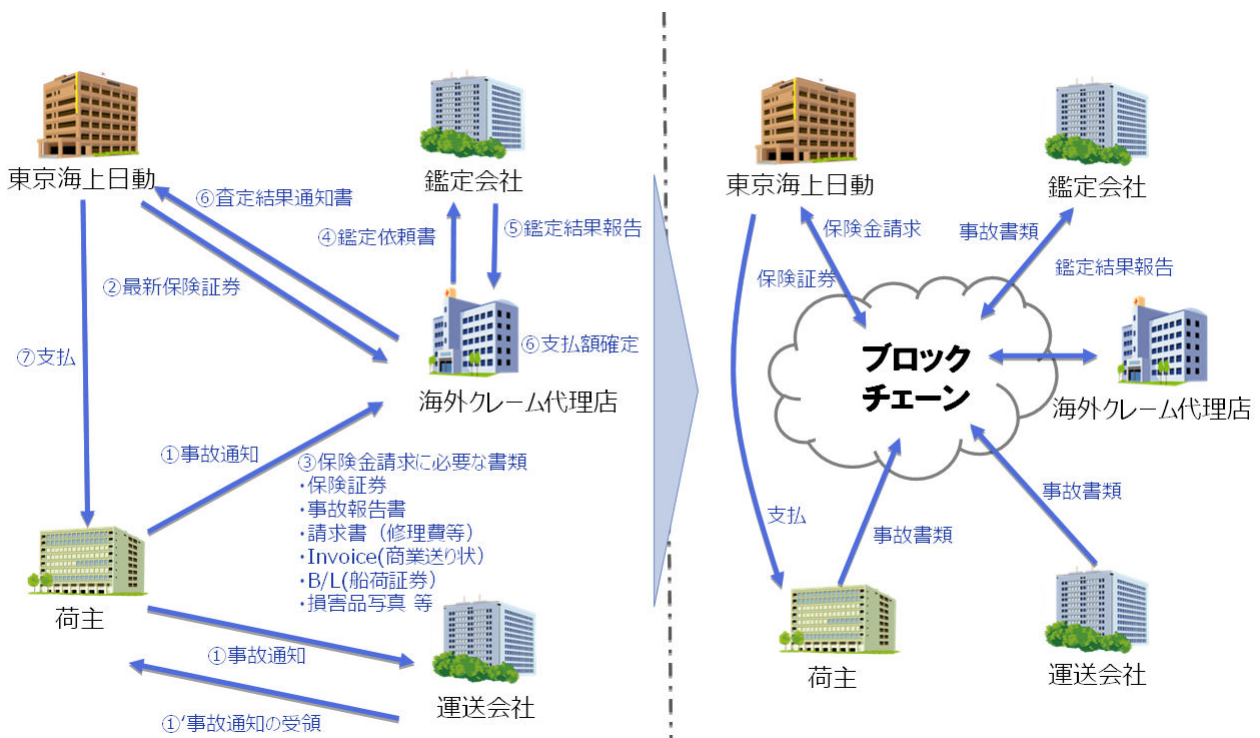
(2) 検証項目

- ①2016年度に実施した外航貨物保険証券のブロックチェーン化で登録された保険証券を、海外クレーム代理店が参照できるかを検証します。
- ②Invoice(商業送り状)やB/L(船荷証券)に加え、輸入者側の保険金請求に必要なその他の書類についてもブロックチェーン化し、実現可能性を検証します。

(3) 時期

2017年11月より実証実験を開始します。なお、実験の終了時期は未定です。

※外航貨物保険・保険金支払い実証実験イメージ



3. 今後について

保険金支払い手続きに必要なドキュメントをブロックチェーン上に流通させるには、保険会社のみならず、国際的なステークホルダーの協力が不可欠です。本実証実験を通じて、保険金支払い手続きに関わるステークホルダーの課題を解決し、実用化につなげていきます。

以上